

市町村名	恩納村
------	-----

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)
担当部課名	村民課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度	観光客受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害防止を図るため、ハブの目撃・捕獲数が多い仲泊～宇加地地域にかけて捕獲器を450基設置・巡回し、ハブ等の駆除を行う。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5858	5,820	5,930	5,822	6,055
		(b) 予算現額	5683	5,575	5,799	5,822	6,055
		(c) 増減額(b-a)	▲ 175	▲ 245	▲ 131	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	5,683	5,575	5,799	5,822	6,055
		B. 執行済額	5385	5280	5385	5,371	5,204
		うち交付金充当額	4308	4224	4308	4,296	4,163
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	94.8%	94.7%	92.9%	92.3%	85.9%	
	予算の状況の説明	486千円のハブ売上収入(交付対象外経費)等により、予算減額と執行済額の差額が851千円あるものの、当初計画していた事業内容は全て実施しており、活動目標の達成状況を鑑みて適正だったと考える。					

活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数	目標	(400箇所)	(400箇所)	(400箇所)
		実績	450箇所	450箇所	450箇所	450箇所
		目標	()	()	()	()
		実績				

達成状況説明
・ハブ等が多く生息する村内南部の地域に、設置予定基数の400基を超える捕獲器を設置し巡回・捕獲を行った。

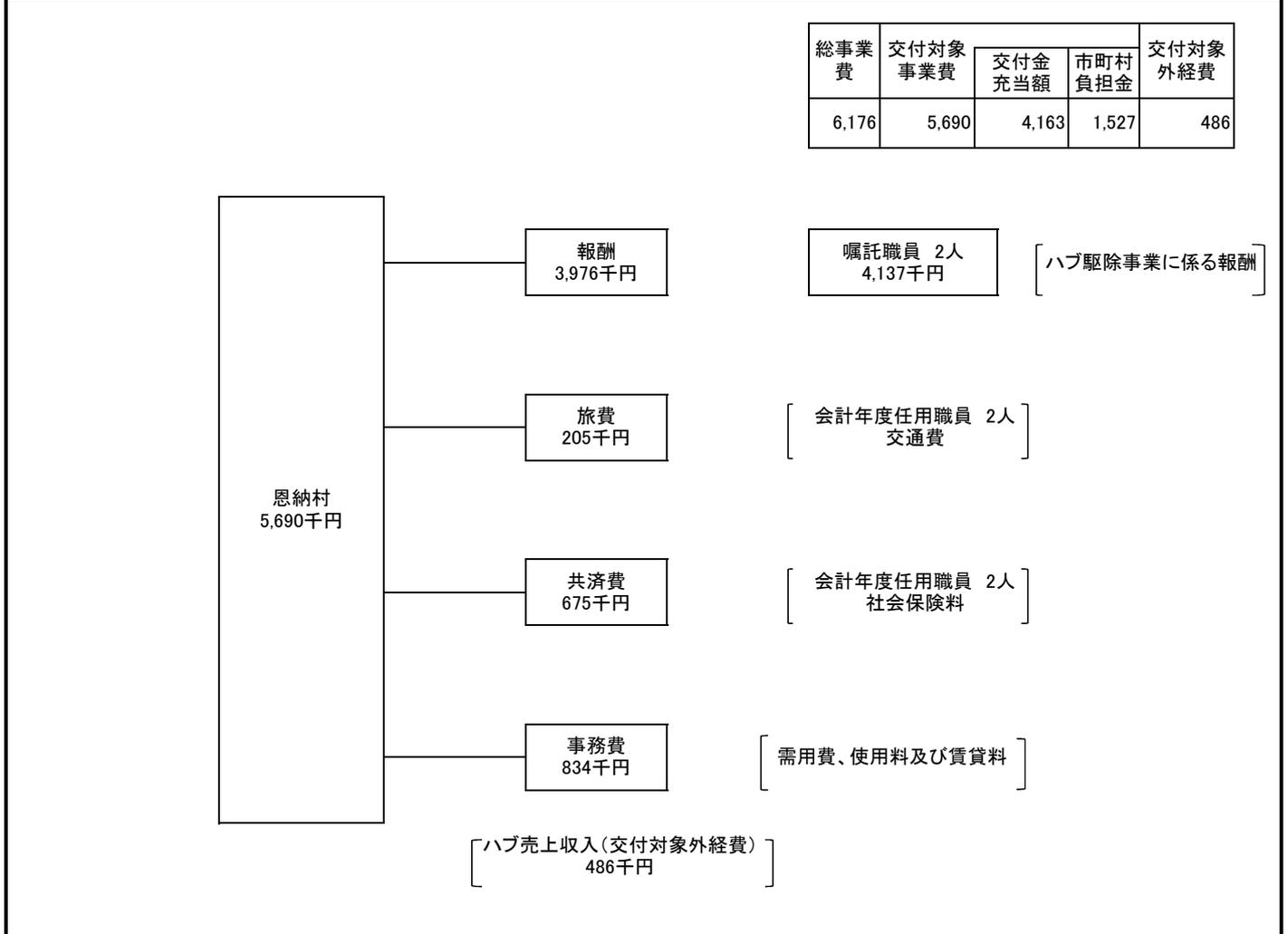
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		捕獲器設置周辺における咬傷被害件数	目標	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)
			実績	0件	0件	0件	

進捗状況説明
捕獲器設置周辺地域における咬傷被害件数は0件で目標を達成することができた。しかし、捕獲器設置区域外で1件の咬傷被害があったため、捕獲器設置区域の見直しを検討する必要がある。

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾ハブの生息地域の見極めのため、生息が懸念される地域へ捕獲器の設置を行ったが、台湾ハブは捕獲されなかった。 ・現在の体制での捕獲器の設置数は450基が限界である。 ・天候による影響なのか、今年度は前年度よりも40%ほど多い318匹のハブを捕獲している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南部地域におけるハブ等の捕獲数が多い地域の北限はおおよそ確認が取れているため、そこからの生息域の拡大を防ぐための捕獲器の設置方法を検討していく。 ・今年度は飼料の与え方を変えることでマウスの長期生存率を上げることができないか検証を行ったが、次年度は飼料や水の与える部分(捕獲器の構造)を改良することで長期生存率を向上させることができないか研究を行う。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が訪れる場所や住宅域へハブ等が侵入しないように捕獲器設置場所の見直しを行っていく、また捕獲数が多い北限の調査も引き続き行っていく。 ・捕獲器の構造(飼料や水の与え方)を改良することで、長期生存率を向上させることができないか研究を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員の採用方法について、村の規定に準じ採用した。また、特殊事業のため経験者を採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費用については、見積入札や村の規定に準じているため適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	観光誘客を図るため、プロモーション活動を行うとともに、観光客の利便性を確保するため、文化情報センターへ観光案内人の配置を行う。また観光ナビマップ(多言語)及び観光WEBサイトを作成し、観光誘客を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		15,989	52,090	57,198	33,220	26,227
			12,184	52,090	31,524	31,646	17,830
			▲3,805	0	▲25,674	▲1,574	▲8,397
			0	0	0	0	0
			12,184	52,090	31,524	31,646	17,830
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		12,181	49,679	30,764	31,646	17,830
			9,743	39,743	24,611	25,316	14,263
			0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	95.4%	97.6%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、「美ら海花火大会」、東京開催の「おんな村観光物産展」、及び「台湾プロモーション」の事業が中止となったため、交付対象事業費が△8,397千円となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光誘客プロモーションの実施	目標	(2回実施)	(1回実施)	(2回実施)	(1回実施)	
		実績	2回実施	1回実施	2回実施	1回実施	
	イベントの開催	目標	(2回実施)	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	(花火大会の開催)	
		実績	2回実施	花火大会の開催	花火大会の開催	中止	
	観光案内人の配置 観光誘客人の配置	目標	(実施・実施)	(実施・実施)	(実施・実施)	(実施・実施)	
実績		実施・実施	実施・実施	実施・実施	実施・実施		
情報媒体の整備	目標	(6万部作成)	()	()	(7万部作成及びWEBサイト)		
	実績	7万部作成 実施			7万部作成 及びWEBサイト		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> イベントの開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「美ら海花火大会」が事業中止となった。 プロモーション事業として、毎年、東京池袋(サンシャインシティ)で行っている「沖縄めんそーれフェスタ」が新型コロナの影響により、オンラインでの開催となった。 情報媒体の整備として多言語のナビマップ及び恩納村観光情報WEBサイトを制作した。 観光案内人を恩納村文化情報センターの観光フロアに2人配置した。 観光誘客人を本事業の業務担当として恩納村観光協会に1人配置した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	イベント観覧者数	目標	()	(15,000)	(15,000)	()	()
		実績		10,000	12,400		
	村内主要ホテルへの年間宿泊者数	目標	()	(276万人)	(302万人)	(287万人)	()
		実績		284万人	262万人	135万人	
	観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
実績			88%	85%	87%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> イベント観覧者数については、対象事業の「美ら海花火大会」が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止となったため、第2回事業計画変更により成果目標の修正を行った。 村内主要ホテルの年間宿泊者数については、135万人と目標を大きく下回った。 観光案内所において、観光情報の提供及び案内人の対応について利用者アンケートを実施した。満足度は昨年度より改善され87%となった。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(村内主要ホテルへの年間宿泊者数) ・目標に届かなかった要因として新型コロナウイルス感染症拡大防止による観光自粛や海外からの規制等の措置によるものと考えられる。 (観光客の満足度) ・観光案内人の観光情報の提供及び接客が目標達成の要因と考えられる。	(村内主要ホテルへの年間宿泊者数) ・各観光施設やイベント会場において、感染防止対策を強化し、観光客に対する安心・安全な受入体制を行うことで宿泊者数の増に繋げる。また製作した多言語ナビマップについてもイベントや配布先等について有効となるような活用により誘客プロモーションを図る。 (観光客の満足度) ・観光案内人の更なる観光情報の収集及びガイド力を習得する。 ・観光客の利便性向上及び村内事業所の利用促進のため村内観光事業所情報の充実を図る。

今後の取り組み方針

- ・引き続き感染防止対策を徹底するとともに、アフターコロナ観光による旅行者のニーズに対応した受入を検討する。
- ・美ら海花火大会について、前回実施後のアンケート調査により、会場のトイレ及び飲食店の出店数について増やして欲しいとの意見やシャトルバスの運行時間の延長等の要望について検討を行い来場者の満足度向上を目指す。
- ・村内における滞在時間(日数)の増加を図るために観光WEBサイトは情報量の充実に努める。村内事業所を訪問し情報の収集及び掲載更新を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,763	17,829	14,263	3,566	934

恩納村 17,829千円	→	委託料 17,829千円	→	恩納村観光協会 17,829千円
-----------------	---	-----------------	---	---------------------

〔ほか、恩納村観光協会負担分(交付対象外経費)934千円〕

〔観光プロモーション事業(観光物産展オンラインで実施)
 ・観光誘客人の配置(1人)
 ・観光案内人の配置(2人)
 ・情報媒体の整備(観光ナビマップ(多言語)、観光WEBサイト作成)〕

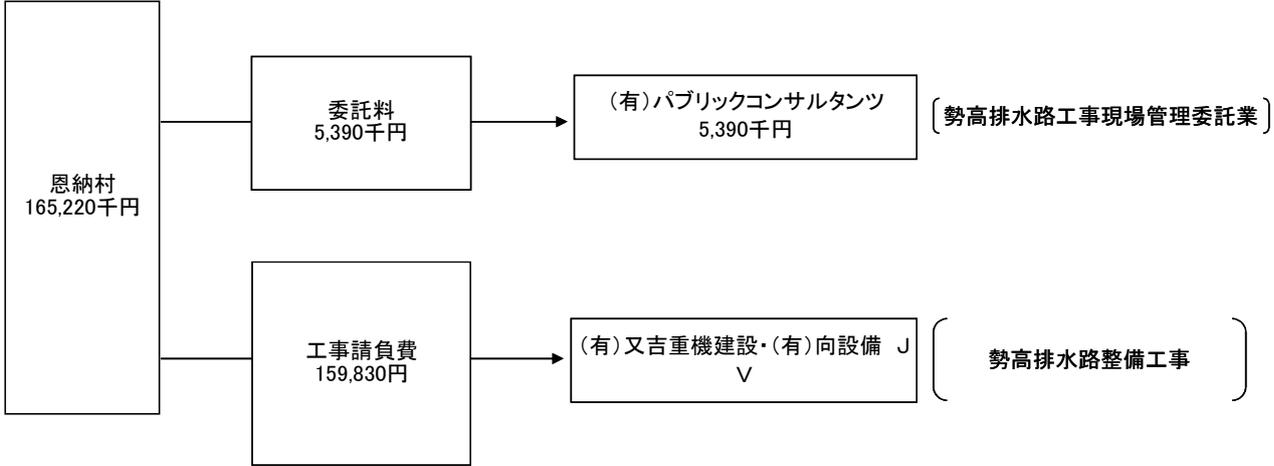
資金の流 れ、費 目・ 点検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、本村の観光を推進することに特化した唯一の事業者となっており、支出先の選定方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		恩納村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	恩納通信所跡地活用基盤整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28～令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 III-8	
事業内容	恩納通信所跡地において跡地の活用促進を図るべく、同跡地周辺区域について、跡地利用計画の推進に向けて基盤整備を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	256,332	—	235,970	159,500	165,506
		(b) 予算現額	178,605	—	205,902	162,390	165,220
		(c) 増減額(b-a)	▲ 77,727	—	▲ 30,068	2,890	▲ 286
		(d) 繰越額	—	29,125	—	—	—
		A. 計(b+d)	178,605	29,125	205,902	162,390	165,220
	B. 執行済額		149,480	27,047	205,902	162,390	165,220
	うち交付金充当額		119,584	21,637	164,721	129,912	132,176
	次年度繰越額		29,125	—	—	—	—
	執行率(%) (B/A)		83.7%	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		不用額286千円は入札残によるものであり事業間流用にて、あしびなー施設(R3繰越)へ流用。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・用地取得及びこれに伴う損失の補償等	目標	(用地取得及び損失の補償等実施)	()	()	()	
		実績	用地取得及び損失の補償等完了				
	・排水路河口部の排水路整備工事の実施	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
実績			実施	実施	実施		
達成状況説明	工事中手時から何度か台風に見舞われ浸水被害が懸念されたが浸水被害は一度も起きなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	・用地取得及びこれに伴う損失の補償等の完了	目標	(用地取得及び損失の補償等実施)	()	()	()	()
		実績	用地取得及び損失の補償等完了				
	・排水路上流部(392m)の完成	目標	()	(240m)	(340m)	(390)	()
		実績		242m	348m	392m	
	【R3成果目標】 ・勢高排水路の氾濫:0件	目標	()	()	()	()	(0件)
実績							
進捗状況説明	既存の排水路は流入流量の断面積が不足しており、整備以前の台風時には度々、冠水被害が起きていた。今回の事業により下流側から排水路を拡幅しながら工事を行ったため浸水被害が無かった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	管理を怠ると水路に土砂が堆積し、草が生えるなどで水路が閉塞してしまうと浸水被害が起きる可能性がある。	水路の巡視を行い、ゴミの投棄や水路の閉塞を日頃から確認し、管理を行う。
今後の取り組み方針		
日頃から管理を行い、地域住民からも何かあれば通報してもらい協力体制を築く。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
165,506	165,220	132,176	33,044	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業務委託者及び工事請負者は指名競争入札を行い選定しており妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

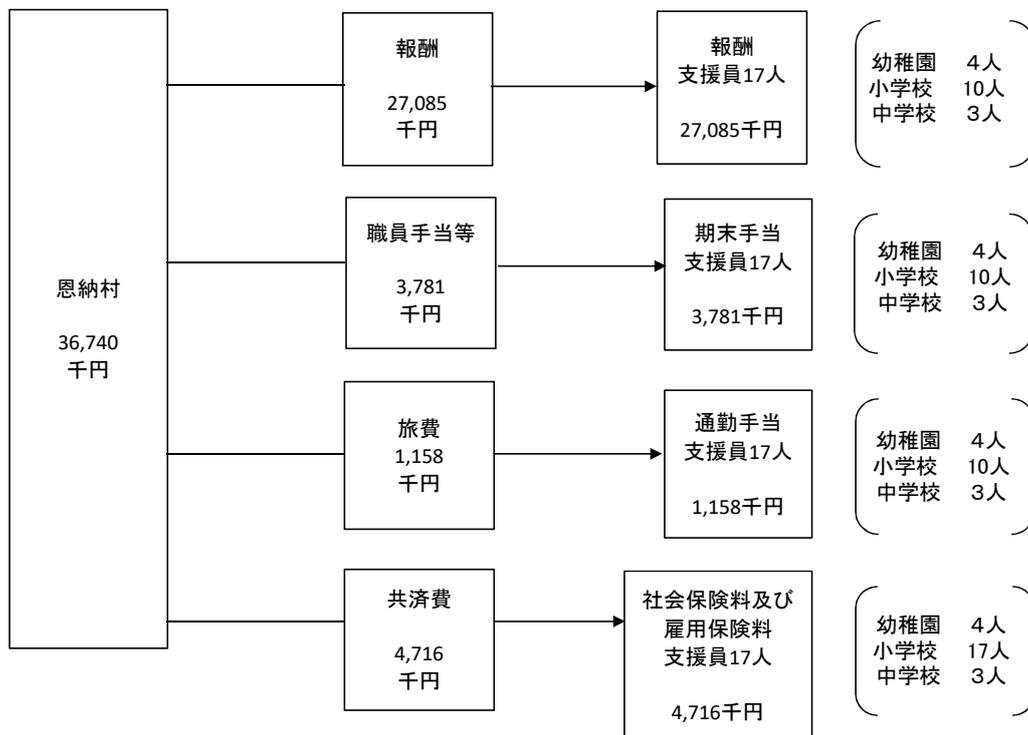
市町村名		恩納村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成29~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	29,648	54,355	44,910	38,595	
		(b) 予算現額	25,566	45,142	44,970	38,595	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,082	▲ 9,213	60	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	
	A. 計 (b+d)	25,566	45,142	44,970	38,595	0	
	B. 執行済額	25,503	37,068	37,272	36,740		
	うち交付金充当額	20,402	29,654	23,962	21,920		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)	99.8%	82.1%	82.9%	95.2%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	・新型コロナウイルス感染症の影響により4月、5月分と3月分の報酬及び共済費について交付対象外経費とした。 ・対象外経費を含めた総事業費は36,740千円で執行率は95.2%となるため執行状況は良好である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	特別支援員配置数 ・小学校 8人 ・中学校 4人	目標	(12人)	()	()	()	
		実績	12人				
特別支援員配置数 ・幼稚園 4人 ・小学校 9人 ・中学校 3人	目標	()	(小学校 12人)	(小学校 12人)	(小学校 12人)		
	実績		幼稚園 3人 小学校 14人 中学校 6人	幼稚園 4人 小学校 13人 中学校 6人	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人		
達成状況説明	・5つの中学校が1校に統合したことにより配置数が減少した。 ・小学校配置の支援員が1名産休により1名補充を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)
	学校評価における、特別支援教育に関する項目について、「学校は、特別な支援が必要な児童生徒に対し適切な対応ができていますか」で、評価3以上(4段階評価)が93%以上を目指す。	目標	(93%以上)	()	()	()	()
		実績					
	特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施： 学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上 アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
実績			92.80%	97.00%	94.45%		
進捗状況説明	引き続き高い評価が得られた。 今後の支援員配置についても90%以上が希望している。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度に5つの中学校を1つに統合し、支援員を減員した。減員したことによる支援の不足、また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校の長期化など多くの不安を抱えた状況であったが、保護者アンケートから変化や成長がみられたとの回答が90%であったことから、支援員の資質向上が図られ、適切な支援が行われているものと思われる。 ・会計年度任用職員へ移行したことにより支援員の定着を図ったが、4割の支援員が継続されなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員の資質向上については、引き続き指導主事による研修を計画的に実施し、学校と連携した支援体制が提供できると考えられる。 ・支援員の定着にむけ近隣市町村の雇用条件等を参考にし、必要に応じて雇用条件を見直す。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・指導主事による研修実施に加え、学校内での研修に積極的に参加させ、校内連携の充実に取り組む。 ・支援員の継続雇用により安定した支援体制を維持する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
36,740	36,740	21,920	14,820	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○「恩納村特別支援教育支援員配置要綱」「恩納村嘱託職員の任用等に関する規則」に基づいた支出であり妥当である。 ○予算規模は妥当である。 ○村条例に基づいた積算および出勤簿管理により支出しているため適正であると判断した。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	